

日本ホワイトファーム株式会社

【所在地】

本社 〒039-4101 青森県上北郡横浜町字林尻102番地100
TEL 0175-78-3945 FAX 0175-78-3952

管理本部 〒141-6013 東京都品川区大崎二丁目1番地1 ThinkPark Tower
TEL 03-4555-8244 FAX 03-4555-8383

知床事業所

種鶏課(育成)	〒091-0161 北海道北見市留辺蘂町字厚和121番地 TEL 0157-45-3268 FAX 0157-47-1069
種鶏課(成鶏)	〒093-0133 北海道網走市字嘉多山378番地 TEL 0152-61-8500 FAX 0152-61-8500
孵卵課	〒093-0133 北海道網走市字嘉多山378番地 TEL 0152-47-2483 FAX 0152-47-2484
生産課	〒099-3118 北海道網走市字豊郷238番地1 TEL 0152-46-2106 FAX 0152-46-2951
物流課	〒099-3112 北海道網走市字北浜218番地22 TEL 0152-46-2141 FAX 0152-46-2143
環境プラント	〒099-3454 北海道斜里郡小清水町字止別16番地1 TEL 0152-63-7511 FAX 0152-67-2022
食品工場	〒099-3111 北海道網走市字藻琴230番地4 TEL 0152-45-1129 FAX 0152-45-1192
化成品課	〒093-0131 北海道網走市字能取港町二丁目4番地5 TEL 0152-47-1070 FAX 0152-47-1071
総務部	〒099-3111 北海道網走市字藻琴230番地4 TEL 0152-45-2532 FAX 0152-45-1192

札幌事業所

孵卵課	〒069-1182 北海道千歳市協和1941番地15 TEL 0123-21-3377 FAX 0123-20-3333
生産・物流課	〒059-1742 北海道勇払郡厚真町字浜厚真381番地 TEL 0145-28-2124 FAX 0145-28-2114
環境プラント	〒059-1511 北海道勇払郡安平町安平1084番地1 TEL 0145-23-2677 FAX 0145-23-2677
食品工場	〒059-1748 北海道勇払郡厚真町字厚和75番地3 TEL 0145-28-3231 FAX 01452-8-3167
総務部	〒059-1748 北海道勇払郡厚真町字厚和75番地3 TEL 0145-28-3388 FAX 0145-28-3167

東北事業所

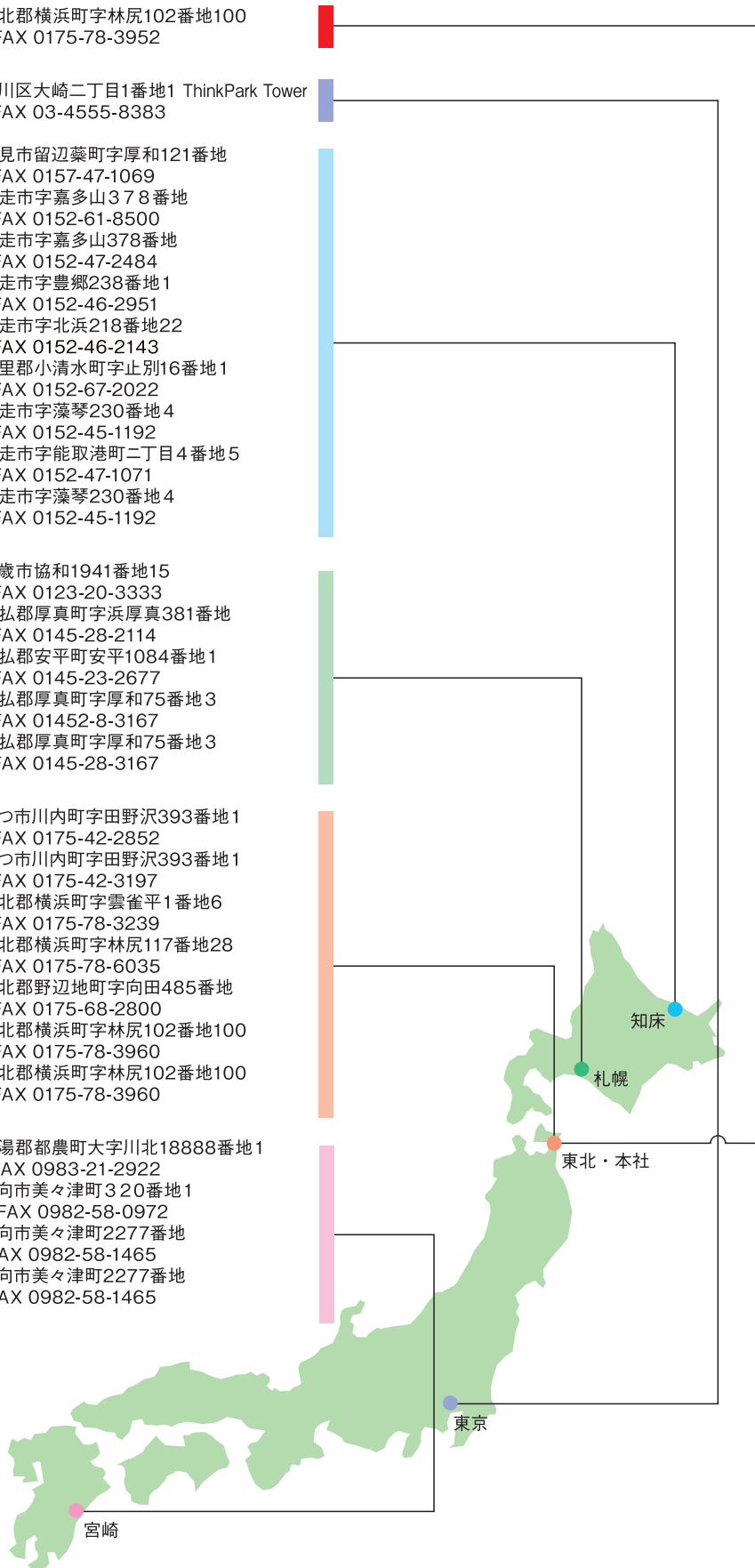
種鶏課	〒039-5201 青森県むつ市川内町字田野沢393番地1 TEL 0175-42-2993 FAX 0175-42-2852
孵卵課	〒039-5201 青森県むつ市川内町字田野沢393番地1 TEL 0175-42-3283 FAX 0175-42-3197
生産・物流課	〒039-4156 青森県上北郡横浜町字雲雀平1番地6 TEL 0175-78-2474 FAX 0175-78-3239
肥料課	〒039-4101 青森県上北郡横浜町字林尻117番地28 TEL 0175-78-6069 FAX 0175-78-6035
環境プラント	〒039-3109 青森県上北郡野辺地町字向田485番地 TEL 0175-68-2800 FAX 0175-68-2800
食品工場	〒039-4101 青森県上北郡横浜町字林尻102番地100 TEL 0175-78-3934 FAX 0175-78-3960
総務部	〒039-4101 青森県上北郡横浜町字林尻102番地100 TEL 0175-78-3934 FAX 0175-78-3960

宮崎事業所

種鶏・孵卵課	〒889-1201 宮崎県児湯郡都農町大字川北1888番地1 TEL 0983-21-2911 FAX 0983-21-2922
生産・物流課	〒889-1111 宮崎県日向市美々津町320番地1 TEL 0982-58-0962 FAX 0982-58-0972
食品工場	〒889-1192 宮崎県日向市美々津町2277番地 TEL 0982-58-1111 FAX 0982-58-1465
総務部	〒889-1192 宮崎県日向市美々津町2277番地 TEL 0982-58-1111 FAX 0982-58-1465

【会社概要】

創 業 昭和56年12月
設 立 日 平成6年4月1日
資 本 金 15億6千万円
事業内容 1.農畜産物(主にチキン)の
育成・処理・加工および販売
2.肥料の製造および販売



Nippon White Farm

日本ホワイトファーム株式会社

会社案内

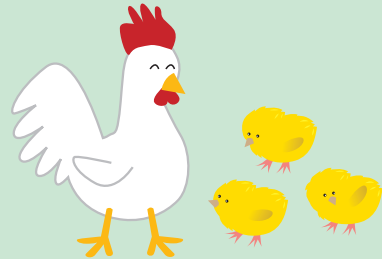
生産から食卓まで、美味しさと安心をお届けしています。

農場

生産工程



CS農場



PS育成農場

PS成鶏農場

孵卵場

ひな誕生

CS農場

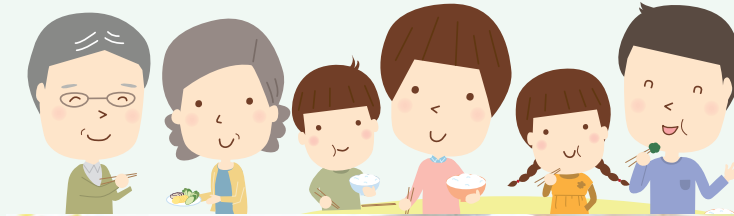
独自の管理システムで 鶏に最適な環境づくり。

日本ホワイトファームは種鶏の育成からはじまり、種卵の生産、ふ化、雛の肥育まで自社で一貫した生産体制をとっています。健康な鶏を育てるため、農場は防疫面を最優先に考え、それぞれ離して展開しています。また、給餌、給水、空調など、鶏の発育段階に合わせ、最も適した環境で育てた鶏を食品工場へ出荷します。



- PS=Parent Stock
(肉用種の親鶏)
- CS=Commercial Stock
(食肉用に肥育した若鶏)

ニッポンハムグループの鶏肉生産事業を担当している日本ホワイトファーム。安心・安全な鶏肉をスピーディーに食卓へお届けするための、鶏の生産・製造体制を築いています。また、オリジナルブランド『国産鶏肉 桜姫®』『知床どり』など、新鮮で美味しい鶏肉の開発に積極的に取り組んでいます。



食品工場

製造工程

生鳥受入

食鳥検査

冷却

カット

計量・梱包

出荷

お客様

徹底した衛生管理システムとスピーディーな製造。

食品工場は、部位別に完全分業化されたラインによって、加工、包装、冷却が効率的に行われ、と鳥から梱包まで商品が滞留することなく約70分という高速加工が可能です。作業終了後には発泡洗浄及び水洗洗浄を行い、操業中もラインの水洗洗浄を実施するなど工場の衛生管理を徹底して行います。衛生的に処理された鶏肉は、包装・梱包の後、グループ会社である日本チルド物流およびニッポンフードグループを経て、鮮度を保ったまま全国のお取引先様のもとへ届けられます。



食品工場

安全 安心



- 特徴1 透明感のある桜色
 - 特徴2 鶏独特の臭みが少ない
 - 特徴3 一般の鶏肉に比べてビタミンEが3倍以上
- ※日本食品標準成分表2015数値比較

ラベルのお問合せ番号で 国内鶏の生産履歴を管理。

日本ホワイトファームは、おいしさとともに、安全・安心もお客様にお届けしています。国内鶏の生産履歴情報は、商品のカートンラベルに表示されているお問合せ番号と記号により管理されています。ファームからテーブルまでお客様の視点に立って、安全で高品質な商品をお届けできるよう取り組んでいます。



ニッポンハムグループの生産履歴情報
お問合せ方法の画面

国際規格 SQF認証

食品の安全及び品質の国際規格 「SQF」の認証を取得。

日本ホワイトファームでは、製造加工部門および生産部門でSQFシステムの要求事項に則った管理を行っており、SQFの認証審査に合格し、ワシントンのSQF協会に認証登録されています。SQF (Safe Quality Food) は安全で高品質な食品を意味します。SQFはオーストラリアの政府機関によって策定され、コーデックス委員会(※1)のHACCPガイドラインに基づいて作成され、食品の安全と品質を確保するための国際的なマネジメントシステムであり、世界食品安全イニシアチブ[GFSI](※2)に承認されたシステムです。欧米では国際規格の認証取得が商取引の条件にされることが多いといわれますが、国内の特に食肉業界においては客観的評価と位置づけられる国際規格の第三者認証を受ける企業は多くありません。食品の安全と品質の安定を確保するこのシステムを導入した日本ホワイトファームの農場や工場での生産、製造された商品をお届けすることは、お客様の安心感や期待感に応えようとするものです。「安全・安心はあたりまえ」といわれるなかで、食品産業に特化し開発されたSQFを導入し認証を受けて、システムを維持し更に改善を継続することが、お客様への食品の安全の保証のひとつであると考えています。



※1: コーデックス委員会

消費者の健康の保護、食品の公正な貿易の確保等を目的として、1963年に設置された国際的な政府間機関。国際食品規格の策定等を行っています。

※2: 世界食品安全イニシアチブ (GFSI)

世界中の食品安全管理システムの継続的な改善を協働で推進するために食品業界の主要な関係者が集まり活動をしています。

日本ホワイトファームの 環境への取り組み。

日本ホワイトファームは、環境への配慮を最優先し、地域との共生を大切にする企業であることを目標として、様々な取り組みを実施しています。鶏舎から排出される鶏ふんは、良質な肥料に製造され、地域の畑などに還元されています。また、鶏ふんを燃やして電気をつくるバイオマスエネルギーの燃料としても利用されています。

